

## 主題：信者

メッセージ 49

彼らの現在——目を覚まして祈ることによって最高水準の道徳と美徳を持つことで  
神聖な三一の分与を経験する

聖書：エペソ 4:1-2, 17, 20-24. ペリピ 1:19, 21. 2:5, 15-16. 3:9-10. 4:8. マタイ 5:16, 20, 48.  
エペソ 2:10. テトス 2:14. I コリント 6:12. 10:23, 31. I テサロニケ 5:21-22. II テサロニ  
ケ 2:16-17. I ペテロ 2:20. マタイ 26:36, 41. 24:42. コロサイ 4:2, 5. エペソ 6:18. ルカ 21:34-36

**I. わたしたちは救われた後、最高水準の道徳と美徳を持つ生活をしなければなりません**  
——エペソ 4:1-2:

- A. 最高水準の道徳は、その命が神聖な属性を伴う神と人性の美徳を伴う人の構成である方（主イエス・キリスト）の生活です——21 節。
- B. 旧約の契約の箱は、キリストの予告であり、内側も外側も金で覆われたアカシア材でできていました。これは、神聖な性質が人の性質とミングリングし、その上に宿り、それに浸透することを表徴します——出 25:10-11。
- C. 新約エコノミーにおける神の意図は、キリストにあるすべての信者が、神・人であるキリストの複製となることです——エペソ 4:17, 20-24：
  - 1. わたしたちはそのような複製となるために、わたしたちの霊の中の霊なるキリストから再び生まれなければなりません——ヨハネ 3:6。
  - 2. わたしたちはまた、魂の中の霊なるキリストによって徐々に造り変えられる必要があります——II コリント 3:18。
  - 3. そうすれば自然にわたしたちは、霊の満ちあふれる供給によって（ペリピ 1:21）、神・人であるキリストを生き（19 節）、彼の思いを取り（2:5）、命の言葉を照明として輝かし出して彼の明るさを反映します（15 節後半-16 節前半）。
  - 4. わたしたちはキリストの復活の力の中で（3:10）、わたしたちの超越した義であるキリストの中に見いだされます（9 節）。
- D. 最高水準の道徳と美徳は、超越した義を実行するものです。この義は、わたしたちの主観的な義としてわたしたちから生かし出された内住のキリストです——マタイ 5:20。
- E. わたしたちはそのような義を実行することを通して、天の御父が完全であるように完全になります——48 節。
- F. わたしたちは神の再生された子供たちとして、わたしたちの光を人々の前に輝かせるべきです。それは、彼らがわたしたちの良い行ないを見て、天におられるわたしたちの御父に栄光を帰すためです——16 節。
- G. わたしたちはキリスト・イエスにある神の傑作として、良い働きのために創造されました。神は、わたしたちがその良い働きの中を歩くようにと、あらかじめ備えてくださいました——エペソ 2:10。
- H. キリストがご自身をわたしたちのためにささげたのは、わたしたちをすべての不法から贖うためであり、そして良いわざに熱心な彼ご自身の特有の所有として、特別な民をご自身へときよめるためです——テトス 2:14。
- I. そのような「良いわざ」は、以下の支配する原則によって規制されます：
  - 1. 事に関して、すべての事が許されているのですが、すべての事が益になるのでは

ありません—— I コリント 6:12 前半。

2. わたしたち自身に関して、すべての事が許されているのですが、わたしは何の支配も受けません—— 12 節後半。
  3. 他の人に関して、すべての事は許されているのですが、すべての事が建造するものではありません—— 10:23。
  4. 神に関して、何をするにも、すべて神の栄光のために行ないます—— 31 節。
- J. わたしたちは神聖な三一の分与を経験するとき、あらゆる良い働きと言葉の中で確立されていきます—— II テサロニケ 2:16-17。
- K. わたしたちが霊的で献身した生活をする中での協力は、すべての事を吟味し、良いものを堅く守ることから成っています—— I テサロニケ 5:21。
- L. 神聖な分与の中に生きる信者たちはまた、どのような形態、種、種類の悪からも遠ざかるべきです—— 22 節。
- M. わたしたちの生活は、善を行なって、苦しみを耐え忍ぶことができるようにする神の恵みの働きを表現します—— I ペテロ 2:20。
- N. キリストを生きる命の表現はまた、何であれ真実なこと、何であれ誉れあること、何であれ義なること、何であれ純粋なこと、何であれ愛らしいこと、何であれ好評なこと、またもし何らかの徳があり、何らかの称賛があることをよくよく考慮します——ピリピ 4:8。

**II. 最高の道徳と美德という結果になる神聖な三一の分与を享受するために、わたしたちは目を覚まして祈る必要があります——マタイ 26:41 :**

- A. キリストと結合した聖徒たちの生活は、うまずたゆまず祈り、感謝することを通して維持されます——コロサイ 4:2 :
1. わたしたちはこの祈りの生活を維持するために、目を覚まして警戒する必要があります——エペソ 6:18。
  2. 祈りの生活を保つために、すべての忍耐、恒常的で持続的な顧みを必要とします。
  3. そのように目を覚まして祈った結果、わたしたちは知恵の中を歩き、時を贖い取ります——コロサイ 4:5。
- B. わたしたちは誘惑に陥らないように、目を覚まして祈っている必要があります——マタイ 26:41。
- C. 絶えず目を覚まして、祈り求めている必要があります——ルカ 21:36 前半。
- D. 目を覚まして祈ることによって、わたしたちの心は酩酊、泥酔、生活の思い煩いで押しつぶされることはなく、地の全面に住んでいるすべての人に臨む大患難のすべての事から逃れるでしょう—— 34-35 節。
- E. 信者たちが目を覚まして祈る必要があるのは、ただ大患難から逃れるためだけでなく、「人の子の前に立つ」ためでもあります—— 36 節後半。
- F. 信者たちが目を覚まして祈る必要があるのは、主の来臨の日と時がわからないからです——マタイ 24:42, 44。

**III. 神の完全な救いの進展した段階における信者たちの経験を通して、彼らは罪の力、罪と死の法則、彼らの古い人、彼らの肉とその情欲、彼らの自己、彼らの魂（彼らの天然の命）、彼らの個人主義、サタン、この世とその現在の時代とその宗教の面、文字の法則とその規定、召会の墮落とそのすべての混合から救われます。**